

江戸川大学 学報

江戸川短期大学

- 目次 -	
関係法令等	1
学内規程	2
主要日程	4
諸報	5
人事異動	9
教職員紹介	10



4月からの講座が開講した柏教室授業風景(中央は大石悠二教授)

関係法令等

【政令】

- 独立行政法人日本学生支援機構法施行令(政令第2号)(文部科学省)
平成16年1月7日公布、施行
- 独立行政法人日本学生支援機構法施行令の一部を改正する政令(政令第84号)(文部科学省)
平成16年3月31日公布、平成16年4月1日施行
- 私立学校教職員共済法施行令の一部を改正する政令(政令第55号)(文部科学省)
平成16年3月24日公布、平成16年4月1日施行

【省令】

- 学校基本調査規則の一部を改正する省令(文部科学省令第1号)
- 学校保健統計調査規則の一部を改正する省令(文部科学省令第2号)
- 学校教員統計調査規則の一部を改正する省令(文部科学省令第3号)
平成16年1月9日公布、平成16年4月1日施行
- 博物館法施行規則の一部を改正する省令(文部科学省令第13号)
平成16年3月30日公布、平成16年4月1日施行
- 私立学校教職員共済法施行規則の一部を改正する省令(文部科学省令第14号)
平成16年3月31日公布、平成16年4月1日施行
- 学校教育法第69条の4第2項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省令(文部科学省令第7号)
平成16年3月12日公布、平成16年4月1日施行
- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令(文部科学省令第8号)

平成16年3月12日公布、平成16年4月1日施行

○教員資格認定試験規程の一部を改正する省令(文部科学省令第18号)

平成16年3月31日公布、一部を除き平成16年4月1日施行

○小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律施行規則の一部を改正する省令(文部科学省令第19号)

平成16年3月31日公布、施行

○高等学校設置基準(文部科学省令第20号)

○高等学校通信教育規程の一部を改正する省令(文部科学省令第21号)

平成16年3月31日公布、平成16年4月1日施行

○学校教育法施行規則の一部を改正する省令(文部科学省令第22号)

平成16年3月31日公布・施行、平成16年4月1日適用

【告示】

○外国において学校教育における十二年の課程を修了した者に準ずる者を指定する件の一部を改正する件(文部科学省告示第4号)

平成16年1月19日

○専門士の称号の付与に関し文部科学大臣が個別に認めた専門士と称することができる専修学校専門課程についてその名称を変更した件

千葉県 江戸川大学総合福祉専門学校 教育・社会福祉専門課程福祉心理科

平成16年2月17日

○私立博物館における青少年に対する学習機会の充実に関する基準第二条に規定する基準を満たしている博物館を認める件(文部科学省告示第36条)

平成16年3月16日

○地方独立行政法人の設立、定款の変更及び解散の認可の基準を定める件(総務省・文部科学省告示第1号)

○国立大学法人会計基準を定める件(文部科学省告示第37号)

平成16年3月17日

○私立博物館における青少年に対する学習機会の充実に関する基準第二条に規定する基準を満たしている博物館を認める件(文部科学省第41号)

平成16年3月26日

○学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準の一部を改正する件(文部科学省告示第47号)

○学校法人の寄附行為等の認可申請に係る書類の様式等の一部を改正する件(文部科学省告示第48号)

○学校設置会社が大学、短期大学若しくは高等専門学校又は大学の学部、学部の学科、大学院、大学院の研究科若しくは短期大学若しくは高等専門学校の学科を設置する場合の当該大学の経営に必要な財産等に関する審査基準の一部を改正する件(文部科学省告示第49号)

○学校設置会社の大学等の設置の認可申請に係る書類、書類の様式及び提出部数の一部を改正する件(文部科学省告示第50号)

○小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律施行規則に掲げる施設に準ずる施設を指定する件の一部を改正する件(文部科学省告示第51号)

○学位規則第6条第1項の規定により、独立行政法人大学評価・学位授与機構が行う学士の学位授与の要件として短期大学又は高等専門学校を卒業した者等が行う学修で別に定めることとされたものを定める件(文部科学省告示第55号)

○大学入学のための準備教育課程の指定等に関する規程の一部を改正する件(文部科学省告示第57号)

○中等教育学校並びに併設型中学校及び併設型高等学校の教育課程の基準の特例を定める件の一部を改正する件(文部科学省告示第60号)

○連携型中学校及び連携型高等学校の教育課程の基準の特例を定める件(文部科学省告示第61号)

○外国において学校教育における12年の課程を修了した者に準ずる者を指定する件の一部を改正する件(文部科学省告示第62号)

平成16年3月31日

学 内 規 程

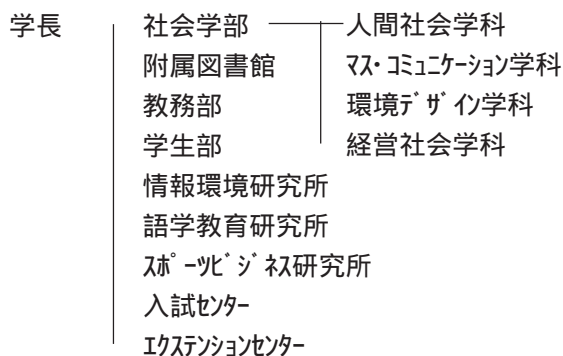
江戸川大学規程等制定

[平成16年4月1日施行]

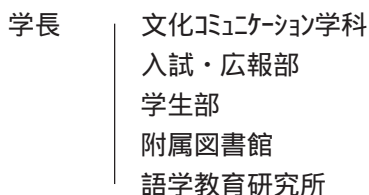
- 江戸川大学教務部規程
 - 江戸川大学学生部規程[廃止、制定]
 - [内容：学生部を改組し、教務部と学生部を設置]
 - 江戸川大学教務委員会規程[廃止、制定]
 - 江戸川大学学生指導委員会規程
 - 社会人等へ開放する江戸川大学授業科目の特別聴講に関する取扱要領
- [平成16年3月1日施行]
- 江戸川大学柏教室の使用に関する要項
- 江戸川大学規程等改正
- [平成16年4月1日施行]
- 江戸川大学学則
 - [内容：学生部の改組に伴うもの、教育課程別表第1の全面改正]
 - 江戸川大学役職者選考規程
 - [内容：学生部の改組に伴うもの]
 - 江戸川大学給与規程
 - [内容：俸給表の改定、職務手当に教務部長を追加]
 - 江戸川大学教員の初任給・昇任・昇給に伴う俸給決定基準
 - [内容：給与規程俸給表の改定に伴うもの]
 - 江戸川大学非常勤講師給与規程
 - [内容：給与規程俸給表の改定に伴うもの]
- 江戸川短期大学規程等制定
- [平成16年4月1日施行]
- 江戸川短期大学情報処理教育関連機材貸与規程
- 江戸川短期大学規程等改正
- [平成16年4月1日施行]
- 江戸川短期大学学則
 - [内容：授業科目の改正]
 - 江戸川短期大学給与規程
 - [内容：俸給表の改定]
 - 江戸川短期大学教員の初任給・昇任・昇給に伴う俸給決定基準
 - [内容：給与規程俸給表の改定に伴うもの]
 - 江戸川短期大学非常勤講師給与規程
 - [内容：給与規程俸給表の改定に伴うもの]
 - 江戸川短期大学科目等履修生規程
 - [内容：入学資格の変更、江戸川大学生の授業料免除等]

江戸川大学・江戸川短期大学機構図

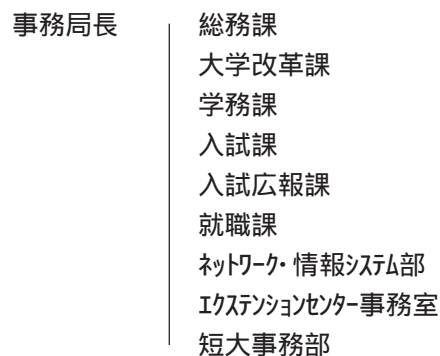
○江戸川大学教育組織



○江戸川短期大学教育組織



○大学・短大事務組織



主 要 日 程

【大 学】		【短 大】	
日 付	事 項	日 付	事 項
4月3日(土)	入学式(流山市文化会館)	4月3日(土)	新入生オリエンテーション
4月5日(月)	1年生ガイダンス(～6)	4月4日(日)	入学式
4月6日(火)	2年生ガイダンス	4月5日(月)	1,2年生ガイダンス、健康診断
4月7日(水)	ダイナブック講習会	4月6日(火)	パソコン講習(～7)
4月8日(木)	授業開始、教科書販売(～24)	4月8日(木)	大学との合同科目授業開始(2年入 フレッシュマンキャンプ(～10))
4月14日(水)	教授会、 エクステンションセンター開講(～7/10)	4月12日(月)	授業開始、履修登録(～17) 教科書販売(～23)
4月29日(木)	みどりの日	4月15日(木)	教授会
4月30日(金)	江戸川ウォーク	4月29日(火)	みどりの日
5月1日(土)	11/3の振替休日	4月30日(水)	4/4の振替休日
5月3日(月)	憲法記念日	5月1日(木)	11/3の振替休日
5月4日(火)	国民の休日	5月4日(火)	国民の休日
5月5日(月)	こどもの日	5月5日(月)	こどもの日
5月19日(水)	教授会	5月13日(木)	教授会
6月5日(土)	大学開放講座	6月7日(月)	A0期(～10/29)
6月12日(土)	大学開放講座、A0入試相談会	6月19日(土)	A0入試相談会
6月16日(水)	教授会		
6月19日(土)	大学開放講座		
6月26日(土)	大学開放講座、オープンキャンパス		

○平成15年度江戸川大学卒業式学長告辞(平成16年3月17日)

学長 太田次郎

本年は経営社会学科の卒業生が加わり4学科の卒業式というのは初めてございまして、学内の施設が手狭で、この流山市の文化会館を借りることになりました。

さて、卒業生のみなさん、改めて卒業おめでとう。諸君はこれから社会へ出て行くわけですが、諸君を迎える社会が今安定していないと言うのはご存知だと思います。国際情勢を見ましても、イラクの状況と言うのは誠に混沌としておりますし、テロの脅威に世界はさらされています。国内はどうかとみますと、確かに一時ほど景気は悪くないと言われていますが、依然として大きな企業が倒産するという状況が続いておりまして、決して安定した経済状況とはいえないです。ましてや従来のように一定の企業に入れば、終身雇用制度に守られてそして年功序列制で給料があがっていく社会でなくなったことは事実でございます。今ごろになりますと、かつては春闘と言うものがございまして、そして各企業の労働者のベースアップをしたわけですが、そうした基本のベースアップをやる企業がほとんどなくなったという状況でございます。そういう状況で諸君は社会に出て行くわけですから、前途が安定した明るいものであるということではできないわけです。

しかし、考えてみれば、私どもの大学のように歴史の比較的浅い大学の卒業生には不利とは言い切れない面がございます。それはかつての安定した日本の社会ですと、どうしても学閥ですとか先輩の引きとかが大変ものを言いまして、会社に入っても新しい大学の卒業生は苦勞しております。しかし、これからは、実力の世界です。努力するものは報われる。そういう世界になると思います。おそらく将来皆さんがだんだん会社で幹部になられる頃にはわが国では年俸制というのが普及してしまっていて、ある年齢になれば当然月給が上がると言うことはなくなると思います。そういう意味では実力主義でございます。実力主義の社会というのは努力をすれば報われるはずで、古くから「天は自ら助けるものをたすく。」と言いますけれども、自ら努力するものが報いられる社会と言うのが今きつつあると言えます。そういう意味で、現在の情勢をあんまり悲観的にみないこと、むしろこれはチャンスであると、新しい大学の卒業生の飛躍するチャンスだと捉えていただきたい。

私が皆さんにお勧めしたいのは、ちょうど去年の暮れにSMAPが歌っていた『世界に一つだけの花』というのがありました。諸君は『オンリーワン』になってほしいと思います。ナンバーワンとかベストワンに選ばれますと必ずしもうまく行かないことがあります。特に恵まれない状況ですとナンバーワンになれるとは限りませんが、努力をすればオンリーワンにはなれる可能性はあると思います。

少なくとも10年間、私は一つの事についてコツコツと努力をしてほしいと思います。それは一つの会社に入って、その会社のために働き年功序列をやると言うのではなくて、自分に一番向いたこと、会社に入ってもいろいろな業種があると思いますが、その中で一番自分に向いたことと思われることに全力を尽くしてもらいたい。それを10年間続けたら、必ず諸君はオンリーワンになれると思います。立派なオンリーワンになると思います。

私も学校を出て大変長いわけですが、私の小学校の友人、昔は小学校と言うのは半分ぐらいの生徒は小学校だけで、後は高等科に行くわけですが、小学校の友人に小学校卒業以来ずっと染物をやっている人がいます。黒の生地を染める染物屋さんですが、もくもくと続けたために現在は人間国宝に近いといわれておりますが、東京都では彼ほどの腕を持った職人はいないと言われております。そういう言う人がこれからの社会で貴重なのです。おそらく企業でも多くのそうした能力を持った人を獲得したいと思っているに違いないと思います。そういう意味で諸君がこれから社会に出て苦勞も多いと思いますが、どうか一つのことを継続してオンリーワン、わが国でかけがえのない人物になることを期待しております。諸君の将来のご多幸をお祈りして告辞とします。



○平成15年度江戸川短期大学卒業式学長告辞(平成16年3月19日)

学長 北原由夫

江戸川短期大学第18回卒業式を挙げるに当たりまして、まず初めに前学長木内英夫先生は任期満了を機に、病氣療養のため退任なさり学園長にご就任、私がお任を引き受けましたことをご承りいただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

さて卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。小学校入学以来今日まで、長きに涉って学んで来られましたが、その間ご両親を始めご家族・ご親族の方々にどれほど深い愛情を注がれてきたことが、またあなた自身、気付かないような心配もたくさんかけてきたことと思います。それらが幾重にも重なり、本日の佳き日を迎えることができたのであります。思いを新たに、ご両親やご家族の方々に、心からお礼を申し上げていただきたいと思っております。

若者は自負心が強いものです。それは生きる力になりますが、自分一人で大きくなったと勘違いしている場合も少なくありません。世の中は思うようにならないこともあり、若い内は親や社会の所為にすることがあります。自分が最も正しいとの思い過ぎからです。顧みて思いつくことがあると思っております。ご両親の懸命な思いや温かいお心が分かりますと、それは人への配慮となり、牽いては他人を思いやる優しい心を生みだし、生きる力となってゆきます。

現代の社会は、幾らか明るい兆しが見えてきたものの、なお景気は低迷しております。そのため人間関係もギスギスしているかに思われます。昨今、親が子を虐待するニュースが多く聞かれます。これは子どもへの配慮を欠いてしまった大人の、自分勝手によっているのではないかと考えてなりません。例え世の中が不景気であり、殺伐たる風潮であっても、他への配慮を持ち合わせている人が多くいれば、どんなにか気持ち安らぐことでしょうか。卒業を機にこのことを深く胸に留めていただきたいと思っております。新しい職場に入ると、年齢も経験も異なった人とも付き合っていくかねばなりません。しかし相手への配慮を重ねてゆけば、いかなる職場でも受け入れられます。現在は男女共同参画社会と呼ばれるようになりました。実力さえつけてゆけば幾らでも伸びてゆかれます。そのためには謙虚さと相手への思いやりの態度が基本となります。それは能力の善し悪しではなく、その人の姿勢と考え方のなかにあると思われまふ。このことを特に留意して行動するよう願いたします。

最近若き女性の活躍が目立っております。なかでも今年芥川賞を受賞した19歳の綿矢りささんの「蹴りたい背中」、20歳の金原ひとみさんの「蛇にピアス」などは大変有名になっております。先の作品は100万部、後者は50万部を突破し、文学書としては驚異的な売れ行きだそう

です。芥川賞は文壇の登竜門と言われておりますが、評判になっただけのことはあります。金原さんは中学以来不登校の生徒だったそうですし、この2月に囲碁の女流棋聖になった20歳の万波佳奈さんは通信制の高校に5年も通い、この春ようやく卒業するのだそうです。しかし、これらの方たちには早くから目標を決めていたという点に共通性があります。誰もが彼女たちのようにはいきませんが、特別なことでなくてよいでしょう。他人を羨むことなく、自分に適したことを早くから探すことこそ大切だと思います。ご両親や先輩、そして親しくなった先生方にも、謙虚に聞いてみることも参考となります。それにより多くのきっかけを掴み、確かな目標を見出すことができると思っております。

本日がスタートです。皆さんには、今後50年も60年もの未来があります。思いやりと謙虚な心を持ち、精一杯生きていってください。そうすれば必ず幸せな将来を築くことができるでしょう。どうぞお体を大切にしてお過ごし、本日までお育ていただきましたご両親への御礼とお祝いを兼ねて告辞といたします。



諸報

平成15年度
卒業生の旅立ち・・・

○江戸川大学

第11期生476名が卒業

第11回卒業式が平成16年3月17日に流山市文化会館で行われ、人間社会学科129名、マス・コミュニケーション学科168名、環境情報学科90名、経営社会学科89名が卒業しました。

特に優秀な成績を収めた学生に対しては、学長賞(神辺晴美) 優秀賞(平地純司、紅林芽久美、藤木洋介)、特別賞(與座彩乃、谷田川潤)、IT賞(淵一憲)、留学生特別賞(楊蕊)が授与されました。



卒業生を代表し、経営社会学科瀧口真之君(写真下)は、「ゼミ活動で培った知識や経験、サッカー部でのクラブ活動を通して育んだ友情を励み

○江戸川短期大学

第18期生177名が卒業

第18回卒業式が平成16年3月19日に映像ホールで行われました。特に優秀な成績を収めた学生に対し、学

長賞(永谷香)、理事長賞(梅澤弘一) 奨励賞(青柳良美、石井明日香、篠田百合、関根美保)が授与されました。

青柳良美さん(写真左)は卒業生を代表し、「フレッシュマンクラブの思い出、学園祭で協力し合って一つのことを成し遂げた達成感、新しい学問との出会いなど



充実した学生生活を送ることができました。新しい社会でも頑張りたい。在学生には2年間何よりも自分自身の発展のために活躍してほしい。」と答辞を述べました。

○江戸川大学

平成15年度就職率79%

平成15年度卒業予定者の就職希望率は男68%、女67%、就職率は男76%、女86%となりました。

就職希望者以外では、進学者率が男25.4%、女20.8%、リター率が男1.7%、女18.9%、留年者率が男27.1%、女11.3%でした。

全国大学卒業予定者の就職率(2月1日現在)は82.1%(男82.8%、女81.2%)でしたので、本学では女子が健闘しました。

○江戸川短期大学

平成15年度進路決定率92%

平成15年度卒業予定者の進路決定率は男94%、女92%となりました。

就職希望率は男22.2%、女55.2%、進学者率が男42.9%、女16.2%、リター率が男0%、女17.6%でした。全国短大卒業予定者の就職率(2月1日現在)は68.5%でしたので、本学は84.2%と全国平均を大きく上回りました。

教育研究施設

学生の要望に応え、改善

○グラウンドを整備しました

今年2月から3月末まで、「循環型有機質土壌改良資材」を使用したグラウンドの改良工事を実施しました。これにより水はけがよくなるので、降雨時の砂の流失を防ぎ、授業やクラブ活動を妨げることがなくなります。また乾燥時には表層土の飛散を防ぐため、グラウンドのホコリが近隣に舞い散り、住民の方々にご迷惑をおかけすることもなくなります。

○E(大学)棟ゼミ室を

リニューアル

本学の教育施設は自然光を多く取り入れ、明るい雰囲気になるように配慮されております。しかし、築後20年が経ち、壁の汚れなどが薄暗い印象にしてしまった教室については、壁を明るい白に塗り替え、蛍光灯を取替える作業を進めております。今後も教育研究施設の改善及び充実に

努めてまいります。

○B(図書館)棟701教室を
開放

統計処理用コンピュータ実習室のB701教室を開放するにあたって、実習室・自習室のどちらの機能も充実させました。テーブル上には電源コンセントと情報コンセントを設置、カラーレーザープリンタやプロジェクタ、統計授業用のノートパソコン等も備えています。また、トリコロールを基調とした配色に、若者に人気のイームズのデザイナーズチェアがポップで明るい雰囲気になっています。学生の積極的な利用が期待されます。



教育組織・事務組織

学生指導体制の充実

○江戸川大学学生部を改組、教務部と学生部の設置

学生指導を充実させるため、教務や学生指導など学生関係の全般を担当していた学生部を、教務部と学生部に改組し、学生の多様化から起きる諸問題に対応します。教務部には部長、次長、教務委員会(諮問機関)をおき、学生部には、部長、学生指導教員、学生指導委員(審議・執行機関)をおきます。また、学生相談室のカウンセラーやあんしん生活サポート窓口の教務職員と連携し、総合的に学生指導を行います。

学生相談室はC棟1階、あんしん生活サポート窓口はA棟1階事務局内にあります。

○『江戸川大学あんしん生活ハンドブック』を発行

近年、学生が犯罪に巻き込まれたり、被害にあうケースが出ています。そこで、学生部では学生の注意を促し、もし被害にあった場合には学生が自分で速やかに対応できるよう、『江戸川大学あんしん生活ハンドブック』を発行しました。

キーワードは、「薄くて、簡単、簡潔」。学生に読みやすいよう工夫がされています。また、保護者の方々に関心を持っていただくためご家庭に配付しています。

○図書館の体制が変わります

総合情報図書館は、平成16年7月より紀伊国屋書店に業務を全面委託することになりました。これにより、大学・短大・専門と分かれて運営していたこれまでの事務処理体制を一本化し、業務の効率化を図ります。

また、レファレンスをはじめとする対人業務を中心に、これまでより一層質の高いサービスの提供が可能となります。新体制で生まれ変わる総合情報図書館にご期待ください。

○新潮文庫が寄贈されました

江戸川大学・短期大学後援会より、総合情報図書館に新潮文庫と文庫本書架が寄贈されました。

すでに新潮文庫のデータ登録も完了し、4F文庫本書架に配置されています。『こころ(夏目漱石)』『怒りの葡萄(スタインベック)』といった往年の名作から、『結婚詐欺師(乃南アサ)』『レベル7(宮部みゆき)』など最近のものまで、内外の小説を中心に約2700冊がそろっています。読書を気軽に楽しむための本として、積極的にご利用ください。

キャンパスネットワーク EDO-NET

サービス増強、ウイルスに注意

○ホームディレクトリの容量増加

EDO-NET 増強工事に伴い、EDO-NET

利用者のホームディレクトリ(メールやWebページを保存する為のサーバ上の場所)の容量が増加されました。以下が新しい容量制限です。

教員 100MB 1000MB
職員 10MB 500MB
学生 10MB 100MB

○StarSuite7が利用可能に

江戸川大学の教職員と学生は「StarSuite7」を無償で利用できるようになりました。StarSuiteは、ワードプロセッサや表計算ソフト、プレゼンテーションソフト等を含む、オフィススイートと呼ばれる製品です。Microsoft「Office」と高い互換性を持ち、Windows以外の多くのOSで利用できることが特徴です。

<http://www.edogawa-u.ac.jp/net/>

○BuffaloのWebページにEDO-NET登場

「株式会社バッファロー」のWebページの「導入事例」に、EDO-NETが紹介されました。同規模の教育機関では、大規模に無線LANを導入した例は珍しいとのこと、参照下さい。
<http://buffalo.melcoinc.co.jp/jirei/airconnect/index.html>

○コンピュータウィルスにご注意を!

世間ではコンピュータウィルスが大流行しています。EDO-NETでは、サーバにウイルスゲートウェイを置き、メールに含まれたウイルスを除去しています。また、ユーザが使う各端末には、ウイルス対策ソフト「AntiVirus」を導入し、侵入しようとするウイルスをシャットアウトします。しかし、ウイルス定義ファイルが更新される前に新種のウイルスが届くという事態も発生しています。

Windowsとウイルス対策ソフトのアップデートもこまめに行ってください。

エクステンションセンター
地元流山市、柏市に貢献

○テレビ放送開始50年特別公開講座「新撰組・その見どころ」に、約1,200名の市民が来場

NHK大河ドラマ「新撰組!」の放送開始の前日、1月10日(土)に流山市文化会館で、当ドラマ制作統括の吉川幸司NHKチーフディレクターをお招きして、その見どころを語っていただきました。予想をはるかに上回る約1,200名の市民で一杯になった会場で、吉川さんは「流山は近藤勇と土方歳三が最後の別れをした重要な場所、ドラマの最後の重要なポイントになる。今の流山も、ゆかりの地と



して番組で紹介したい。」と語り、市民を喜ばせました。流山市と共催で開催したこの講座は、流山市の町おこしに貢献したと言えます。

○エクステンションセンター
初開講

江戸川大学エクステンションセンターでは、「豊かな人生への扉を開こう」をキャッチフレーズに、柏教室にて社会人のための講座を開講します。4月の講座は、中東地域をめぐるさまざまな問題をテーマにした「誰にもわかる中東情勢」、一生の記憶を文章に書き留めまとめる「自分史を書く」、本学海外研修の実績から生れた「サバイバル英会話」、ハンチャマジックを手がけたい人向けの「ハンチャマジック論」の4講座です。専任教授が一人一講座を担当、各講座とも全12回、7月10日まで続きます。

江戸川学園法人本部
補助金、大短ともに増加

○平成15年度私立大学等経常費補助金交付結果

江戸川短期大学において少人数教育の推進項目が3年目にして初めて採択され、4,000千円の補助金の交付を受けました。

江戸川大学 187,346千円

(内特別補助56,054千円)

対前年比39,000千円増

江戸川短期大学 87,401千円

(内特別補助26,501千円)

対前年比36,011千円増

○給与規程俸給表の改定

(平均1.1%引下げ)

本学園では、給与規程のうち俸給部分については、国家公務員俸給表を準用しております。平成15年8月に人事院より公務員給与改定の勧告があり、俸給表も全面改定され、公務員については平成15年12月より4月に遡り導入されております。本学園につきましては、今回支給の平成16年4月給与より新俸給表を適用します。

○訃報

越智 昇氏

(元教授・初代応用社会学科長)

去る平成16年2月1日逝去され、通夜及び告別式が郷里横浜市で営まれました。享年79歳。

同氏は、大正14年1月25日に生れ、京都大学文学部哲学科を卒業、京都大学人文科学研究所助手、愛媛大学文理学部講師教授等を経て、横浜市立大学文理学部教授に着任されました。本学には開学と同時に着任され、「社会学」「社会調査法」などの科目を担当、初代応用社会学科長としても活躍されました。著書に『社会形成と人間 社会学的考察』青娥書房、『町内会と地域集団』ミネルヴァ書房等。横浜市立大学名誉教授。

平成16年度学内研究費配分表

江戸川大学

研究者名 代表者	研究題目	計画年数	配分額(千円)	備考
人間社会学科				
柴田良一 上瀬由美子 松田英子	クライアント - カウンセラー間の非言語コミュニケーションに関する研究(2年次)	単年度	1,066	
塚本明子 平山満紀	「手のあり方」についての現象学的・社会学的研究	単年度	1,000	
計			2,066	
マス・コミュニケーション学科				
市村佑一 佐々木正實 宮坂万喜弘 朝倉暁生	学生と教職員間のコミュニケーションに関する研究	単年度	600	
市川 昌 大谷達之 剣持 隆 中村 豊	広告広報とコミュニケーション能力開発手法の研究	単年度	300	
久保悌二郎 朝倉暁生 前野譲二	地域情報通信ネットワークの評価と地域情報化の実態の検証	単年度	600	
新井正彦 郡司俊雄	オールブラックスにみるニュージーランドのアイデンティティ研究	単年度	648	
進藤榮一 篠田 豊 安田英土	グローバル・コミュニケーション研究・教育の課題と方法 - アジア共同体政策を中心に	単年度	348	
計			2,496	
環境デザイン学科				
恵小百合 米村恵子 倉 萍	環境関連情報の収集と整備に関する基礎的研究()	単年度	712	
伊藤 勝 土器屋由紀子 森島 済	市民レベルの環境認知に供する江戸川大学周辺地域の環境マップの作成	単年度	552	
親泊素子 吉田正人 黒崎輝人 金田正明	企業による環境活動に関する研究(継続)	単年度	736	
計			2,000	
経営社会学科				
宇野正人 大内田鶴子	東京における同業者集団の研究	2年度	840	2年次
小田一郎 帆足興次 安田英土	電子商取引やITベンチャーに関する研究	単年度	600	
安田英土 茅野広行 小林 至 鈴木輝隆 北原憲彦	経営社会学科カリキュラム開発のための基礎的研究調査	単年度	1,020	
計			2,460	
合 計 (13 件)			9,022	

情報環境研究所

研究者名 代表者	研究題目	計画年数	配分額(千円)	備考
向仲 顯 高田正之 石田義明	インターネット利用技術の研究	単年度	1,000	
合 計 (1 件)			1,000	

語学教育研究所

研究者名 代表者	研究題目	計画年数	配分額(千円)	備考
市川 昌 加藤忠明 長谷川公一 秋葉和子 原田昌明	言語教育と異文化理解の方法と教材に関する研究	単年度	900	
斎藤喜久志 松村豊子 城一道子	総合英語用教材の開発と学習レベルおよび到達度の調査研究	単年度	500	
加藤忠明 長谷川公一 新井正彦	ホームステイ英語教材の開発	単年度	250	
秋葉和子 井上雅子	マルチメディアを使用した言語文化研究の基礎研究	単年度	400	
近藤益世 原田昌明 海老澤邦江 R.Baer T.Kelly 木内英太	英語教育のシステム化と評価法の研究	3年度	1,000	3年次
合 計 (5 件)			3,050	

江戸川短期大学

研究者名 代表者	研究題目	計画年数	配分額(千円)	備考
下平武治 佐藤 毅	日本文学史跡のデータベース化 - 日本文学史跡の踏査研究を行い、資料のデータベース化を図る -	単年度	1,500	
宮崎孝治 下平武治 奥田昭夫	速読の指導法に関する研究	単年度	1,500	
合 計 (2 件)			3,000	

人 事 異 動

江戸川大学長

発令年月日	氏名	発令内容	備考
16. 4. 1	市村 佑一	学部長委嘱	マシ・コミュニケーション学科長
"	村田 貞雄	図書館長委嘱	更新
"	久保 悌二郎	教務部長委嘱	学生部長
"	斗鬼 正一	学生部長委嘱	学生部次長
"	柴田 良一	人間社会学科長委嘱	
"	篠田 豊	マシ・コミュニケーション学科長委嘱	
"	伊藤 勝	環境デザイン学科長委嘱	
"	帆足 興次	経営社会学科長委嘱	更新
"	市川 昌	語学教育研究所長委嘱	更新
"	向仲 顯	情報環境研究所長委嘱	更新
"	茅野 廣行	スポーツ科学研究所長委嘱	
"	木内 英仁	教務部次長委嘱	学生部次長
"	松田 英子	学生指導教員指名	
"	詹 萍	学生指導教員指名	
"	小林 至	学生指導教員指名	
"	郡司 俊雄	学生指導教員指名	
"	北原 憲彦	学生指導教員指名	
"	守屋 志保	入試センタースタッフ委嘱	非常勤講師

江戸川短期大学長発令

発令年月日	氏名	発令内容	備考
16. 4. 1	下平 武治	文化コミュニケーション学科長委嘱	更新
"	佐藤 毅	図書館長、入試広報部長委嘱	更新
"	福井 嗣泰	学生部長委嘱	更新
"	宮崎 孝治	学生部次長(教務担当)委嘱	更新
"	近藤 益世	学生部次長(学生担当)委嘱	更新

江戸川学園理事長発令

発令年月日	氏名	発令内容 (大学教員)	備考
16. 4. 1	高澤 則美	教授採用	科学警察研究所法科学第四部長
"	剣持 隆	教授採用	(有)現代広報研究所所長
"	北原 憲彦	教授採用	客員助教授
"	吉田 正人	助教授採用	日本自然保護協会常務理事
"	保科 悦久	助教授採用	(株)ブレインコンサルティング 代表取締役
"	上瀬 由美子	教授昇任	助教授
"	朝倉 暁生	教授昇任	助教授
"	郡司 俊雄	教授昇任	助教授
"	浦 達也	特任教授新規	教授
"	大谷 達之	特任教授新規	教授
"	浦川 朋司	特任教授任用更新	特任教授
"	浜田 竜之介	特任教授任用更新	特任教授
"	土器屋 由紀子	任期付任用	教授
16. 3. 31	堀江 固功	定年退職	教授
"	板倉 壽郎	辞職	教授
"	蛭川 立	辞職	助教授
(短大教員)			
16. 4. 1	鈴木 仲秋	特任教授任用更新	特任教授
"	原田 昌明	特任教授任用更新	特任教授
(教務職員)			
"	鈴木 秀夫	採用[ｽﾎｰﾙ-ﾋﾞｼﾞﾈｽ研究所併任]	
"	古城 庸夫	配置換[ｽﾎｰﾙ-ﾋﾞｼﾞﾈｽ研究所併任]	
(事務職員)			
"	上野 美保子	学務課員採用	
"	橋本 康大	学務課員採用	
"	飯島 由利子	短期大学事務部学務係長昇任	ネットワーク・情報システム部図書館係
"	野水 明良	入試広報課長配置換	短期大学事務部事務長
"	近藤 英昭	入試広報課顧問(非常勤)委嘱	入試課
"	江花 栄二	入試広報課入試広報係長配置換	入試課入試係長
"	袴田 涉	入試広報課配置換	入試課
"	宮川 実樹典	入試広報課配置換	短大事務部
"	田口 亮	入試課配置換	学務課
"	島崎 雅子	大学改革課配置換	ネットワーク・情報システム部図書館係

教職員(新規採用者)の紹介

人間社会学科教授

高澤 則美(たかさわ のりよし)



趣味は読書と音楽鑑賞、それと木工です。子供の頃からものを作るのが大好きで、最近は小さな家具作りなどをやっています。また、音楽を聴く道具として、アンプづくり等にも手を出しています。何かを作るのは時間と手間がかかりますが、自分の生活と目的にあったものが

できるのが魅力です。50歳を過ぎた頃から、それまではあまり読まなかった時代物を読むようになり、藤澤周平に魅せられております。出版されているものは全部読みましたが、更に繰り返し読んでいます。これまでの研究領域は、生理心理学や運動学習といった、心理学の中でも基礎的なものです。江戸川大では、心理学のおもしろさを、実験演習を通じて伝えたいと思っております。



環境コミュニケーション学科教授
剣持 隆(けんもちたかし)

早稲田大学商学部を卒業。キャリアと呼べるのは編集マン生活が長いこと。出版社などを経てこの12年間は『経済広報』(経済広報センター発行)の編集を担当し、この間日本広報学会の設立に参加しました。

家族は一男一女の4人家族。長男は家を出ております。長女も早く出て行ってほしいと思っていますところです。住まいは鎌ヶ谷。性格はせっかち。大学時代は登山が好きでした。

「七転び八起き」といいます。何回かの転社体験のある私は、七転び六起きが実感。七起きは大甘。あと一つ起きるためには、これまでとは様子が違うような気がします。八起きとは、学生と教職員の方がたとコラボレートすることにほかならないと思います。



スポーツビジネス研究所教授
北原 憲彦(きたはらのりひこ)

バスケット選手としてオリンピックを始め、数々の国際大会に参加させていただき、選手引退後は約20年近く指導者として日本代表チームを初め、企業チームの監督やゼネラルマネージャーを務めさせていただきました。特に、現役選手時代所属した(日本鋼管)では仕事とスポーツの両立は当然であった為、大学に於いては学生に学業とスポーツの両立、ビジネスとスポーツの関わりなどを伝えていければと考えております。

一昨年まで年間十数回に及ぶ海外遠征、国内各地での強化合宿で一年の大半がホテル暮らしであった為、現在の自宅から務めて行ける環境も新鮮で趣味の家庭サービスも充実させていただいております。



環境デザイン学科助教授
吉田 正人(よしだまさひと)

千葉県佐原市生まれ、千葉大学を卒業後、環境NGOで仕事をしていました。最初に就職したのは日本ナチュラリスト協会。首都圏にすむ子供たちを対象に自然観察会を開いたり、山村につれて行く環境教育の仕事でした。その後、日本自然保護協会に勤務し、東京都高尾ビジターセンター自然解説員など環境教育の仕事の他、カモシカやジュゴンの保護、三番瀬の干潟や沖縄の藻

場の保護、国際自然保護連合の窓口などを担当していました。大学では、野生生物の絶滅を防ぎ、生態系を保全再生する保全生態学と環境教育を中心に教えます。

現在は埼玉県新座市に、妻、長男、長女と猫の4人プラス1匹ぐらしです。気軽に研究室を訪ねてください。



経営社会学科助教授
保科 悦久(ほしなよしひさ)

普段企業の経営・財務面のアドバイスをしており数字ばかり追いかけていますので、休日はそれらから離れるように心掛けています。まずは太り気味と思いゴルフとテニスを始めたものの、今ではプレーよりもアフタードリンクの方が主となってしまいました(笑)。またワールドカップ後はサッカーを観ることも多くなり、静かに(?)エスパルスへの応援をしています。安貞桓や三都主などスタープレーヤーがいなくなり寂しくなりましたが、今年はレイソルと優勝争いをするのではと思っています。管理会計、最近は特に知財評価に興味をもっています。



教務職員
鈴木 秀生(すずきひでお)

小学校入学と同時にサッカーをはじめ、中学・高校・大学とキャプテンを務めてきました。又、ジェフユナイテッド市原に入団し、元日本代表でもある城選手などと同期でプレーをし、プロの厳しい現状を目の当たりにしてきました。引退後は、指導者として勉強し、現在、江戸川大学体育会サッカー部の監督をさせていただいております。

サッカー人生のなかで、プロとしての経験や怪我での6回の手術。苦しい事もありましたが、学んだ多くの事をいかして、少しでもお役にたてたらと思いますので、宜しく願いいたします。



事務職員(学務課)
上野 美保子(うえのみほこ)

学務課4年目の新人、上野です。今後ともよろしく願いいたします。

思い起こせば3年前の大学入学式の日、縁あって江戸川学園に派遣されることになったわたくしは、ばたばたと走り回る学務課の方々を右も左もわからずただ呆然と眺めているだけでしたが、いつのまにやら自分がばたばたと

走り回っている今日この頃です。

生来おとなしい性格のはずなのですが(当時は地味でまじめな子供でした)どこでどう間違えたのか(皆様ご存知のとおり)お祭り好きで陽気な人間に成長してしまいました。

最近の趣味は30過ぎて何を思ったか突然始めたテニス。今や江戸川学園職員テニスサークル(活動不定期)で大活躍中(!?)です。ご興味のある方はご一緒にいかがですか。お待ちしております。

役職者就任挨拶

江戸川大学

○社会学部長 市村 佑一

創立15周年を迎える江戸川大学。いかに21世紀にふさわしい大学を築かが問われています。今春から大学の将来像や広報戦略などをめぐっての活発な議論がまきおこると思います。教職員が共通の認識をもって一丸となって進むには、「情報」が縦横斜めに流れるよう風通しを良くしなければなりません。学部長はいわば「情報」の交差点に立って、「心」を通わせやすい環境を整える係です。「知識に限界あり、智恵に限度なし」。独自のカラーをもつ4学科が相互に刺激、連携しあいながら大いに「智恵」をだしあっていけば、学生が満足できる高等教育を必ず実現できると思っています。いつの時代も「変化」していくものだと思います。

○図書館長 村田 貞雄

前期に引きつづき図書館長を拝命することになった。司書資格はないから関連のかたがたにはいろいろとご迷惑をかけつづけることになりそうだ。さしあたり今年の課題は業務システムの更新であり年度初めから作業を開始、新しいサーバのテスト運用を7-8月、後期授業開始までに本番運用を予定している。拡張される機能を活用できるまでにはもう少し時間がいりそうである。ここまでは当面の課題なのだが長期課題にはいろいろ頭の痛い問題がある。学生諸君の本ばなれとマナーの低下、蔵書数の増加に伴う収納スペースの確保である。前者には特効薬はなさそうで、地道な利用改善努力を積み上げるしかない。後者は当面ウォーニングを発するにとどめる。

○教務部長 久保 悌二郎

今年度から、従前の学生部の組織を「教務部」と「学生部」に分離し再編成した。この改革は、ひとえに学生



事務職員(学務課)

橋本 康大(はしもとこうだい)

今回新卒で採用になりました、中央学院大学出身の半月前まで学生だった橋本です。私のことについて色々を紹介したいと思います。5人家族で姉・兄・私の3人

兄弟です。姉は家庭を築き2人の子供に恵まれ、兄は独り立ちしているため、自宅には私と母と父の3人暮らしです。そして私の趣味はテニス・水泳・ショートスキー・車(バイク)愛車レガシーツーリングワゴン・ゴルフ(かなり初心者)などです。もし、趣味が合うかたが居られましたら声かけてください。

へのキメの細かい指導とサービスを充実させるためであり、教務部の主な役割は、教務委員会とともに学生の学習環境を、カリキュラム編成、授業の配置の面から整備し、質量ともに充実した「学びのプログラム」をトータルに構想することにある。

そのために、学生部と手をたずさえて、種々の改革を実現して行く責務があると思っている。入り口(入学)出口(就職・進路決定)そして教育の中身そのもの、これらを三位一体的に、各種委員会と協力しながら充実していかなければならないと考えている。

○学生部長 斗鬼 正一

教育サービスの質が問われ、学生は「超大衆化」という時代には、従来の「大学」「大学生」像を想定した学生部は対応不能。そこで今回の「学生部改革」だ。従って目標は1)「あんしん生活サポート」(危機管理、ドロップアウト防止、留学生指導体制整備等)2)「アメニティキャンパス」(売店、食堂整備等)3)「にぎやかキャンパス」(課外活動活性化等)だ。

さっそく「学生指導教員」創設、「あんしん生活サポート窓口」設置、「あんしん生活ハンドブック」配布が実現するが、冬の時代のサバイバルと「教職員のあんしん生活」には、ご理解、ご協力による「学生部へのサポート」を熱望。是非ともご支援を。

○人間社会学科長 柴田 良一

教育臨床の現場から大学に席を移して、早いもので本学で5校目になります。対象学生は様々でありまずし、教育理念も様々ではありますが、そのなかで、小生が心がけていることは、「記問の学」に陥らず、如何にして自分の「心」「ことば」を伝えるかということです。

しかし、みなさんご承知の通り、今の時代この作業は大変な困難を伴うのかもしれない。しかし、この

ことを諦めては教育は成り立たないと考えております。丹念に根気よく続けていくしかない、と考えております。今を知り、明日を生きていけるよう、若者たちに伝えたいと思います。そのために、皆様方と力を合わせて、微力ではありますが力を尽くしたいと思います。

○マス・コミュニケーション学科長 篠田 豊

現状での最優先課題は「定員割れ阻止」と捉えています。そのために、受験生にとって魅力ある学科、コースの新設、魅力ある「教え手」の確保、そして既存のカリキュラム、人材の素晴らしさの宣伝に努めたいと思います。

マスコミ学科の「セールスマン」として旗を振り、突っ走りたいと考えています。

企画、広報、宣伝にかけては名うての教員がそろっている当学科ですので、その方たちと共に、そして事務局の皆様のご協力をいただきながら、迅速に戦略、戦術を立てて「後手」を引かないように、「前へ前へ」の精神で進みたいと決意しております。

○環境デザイン学科長 伊藤 勝

団塊の世代の先兵として、オイル・ショックの洗礼を受け、湾岸戦争からの平成の長いトンネルから抜け出そうとした矢先、少子高齢化と「ゆとりある学生」との遭遇と相成りました。難題の矢弾の下を掻い潜り、翌桜を「明日成る」へと何とかしてきましたが、今回は容易くなさそうです。

多彩な先生方の特色を拡散させることなく、学生のための焦点に集中することにより、新たな展望を開かなければなりません。民間企業であれば、理解させ、強制的に動かすことが出来ます。個性豊かな先生方には適用できません。「焦点」とは何か、集中させる手順はどうしたら可能かなど、難題を解くための難題があります。ともあれ、やらねば！

○経営社会学科 帆足 興次

教育目標の基本は「Challenge & Success」。自分の個性や能力を開発し、ビジネスの世界で果敢に挑戦できる人材の育成をめざしています。いまの時代、頼れるのは会社の名前ではなく、身分の実力。5年、10年先のキャリアを描き、ステップ・アップする姿勢が必要でしょう。本学科では経営理論の講義のみではなく、インターンシップやビジネス・リーダーとの交流、海外での研修など、実践的なプログラムをも用意しています。いま、IT技術の進歩を反映して、新しいビジネスが生まれ、急速に成長しています。求められるのは、これま

でないアイデアと実行力。優れた教授陣と4年間、楽しく学びたいものです。

○教務部次長 木内 英仁

本年度から学生部と組織的に分かれることとなりました教務部の次長として、教務全般を担当することになりました。よろしくお願い申し上げます。

教務部の担当する業務は多岐にわたりますし、その事務量も多いですから、正確さを重視しつつも効率的な事務処理を行えるように心がけます。また、教務部の取り扱う業務が大学にとって重要であることから、しっかりとの方針に基づく決定をしていきたいと思っております。

さらに、同じ駒木キャンパス内の短期大学や専門学校とのカリキュラムなどにおける調整や相互協力についても、検討を行っていききたいと考えております。

江戸川短期大学

○江戸川短期大学長 北原 由夫

本短期大学は昭和60(1985)年に開学した。従ってこの春には20年目の記念すべき年を迎える。爾来、卒業生は凡そ6,500名を輩出し、その多くは社会の第一線にて個性を發揮しつつ有意義な活躍を続けている。

ここに到る過程は景気の低迷や価値観の変動著しい時に当たっており、幾多の曲折を重ねてきた。これら影響下に、若者のニーズも多様化したため、当初は人文学科であったが、建学の精神を遵守しつつ、その要望に応える形で文化コミュニケーション学科に改称した。

しかし改めて創立の理念に鑑み、知識技術の修得とともに学生の個性を重視し、一層伸展を図るべく、リベラルアーツの思想を充実せねばと考えている。それが自立を促し、混迷の世を行き抜く力になると思うからである。

○文化コミュニケーション学科長 下平 武治

短期大学は今年で創立20周年という節目を迎えます。この節目の年にあたって今まで江戸川短期大学が培ってきたものはなんであったのか、今一度原点に立ち返って本学の教育の理念を再認識してみたいと思っております。

今文科系の多くの短期大学が定員確保の危機にさらされ、短期大学の危機が叫ばれています。その中において本学がここ数年定員を確保できているのは、この

20年間に培ってきた、一人一人の学生を大切にし学生と共に教員一人一人が切磋琢磨してきた賜物であると思います。これからも学生一人一人を大切に、学生に夢をもたせ、その夢を実現させるべく労力を惜しまず全力を尽くしていきたいと思っています。

○学生部長 福井 嗣泰

昭和61年5月、二人の学生が研究室を訪ねてきた。そして、突然「先生、茶道部の顧問になって下さい」と言った。私は驚いてどうして私が茶道部の顧問なの」と聞くと学生は、「先生は心理学の授業でいつも会うから」と応えた。私の授業は100名を越える受講生であったから、また驚いた。練習場所・道具・茶道の教授すべてがない状態からの出発であった。量は古量を知り合いからもらった。道具は私の自宅にあった物と彼女らがアルバイトやお小遣いを出して買った。教師と学生との間で、無からの創造が始まった。稽古・合宿と生活をともにした。茶道の歴史・道具・お茶お菓子・お香全てに興味を示し彼女らは体験した。そうして、この初代茶道部部長は、現在まったく別の世界、前総理大臣森喜朗議員事務所働いている。大学は、こうした出会いと知の探求、夢と勇気の種を育てる場所でありたい。

○図書館長、入試・広報部長 佐藤 毅

いかに地域に開放され、かつ貢献できるかという点に大学のひとつの将来像がある。生涯学習を目指す人々は、知と情報の発信源としての役割を大学に求めている。その期待に効率的に応える形で大学は存在しなければならない。学習意欲の衰退によって学生の図書館利用は年々減少傾向にあるのに対して、地域住民の学習意欲は高まるばかりである。入試・広報の対象は高校生であるが、知と情報の発信源として地域に根差した大学を構築できれば、学生募集にも波及効果が出る。大学が開放され、大人の熱い学習意欲が身近にあれば学生に及ぼす効果も計り知れない。大学を地域に開放し、貢献するという責務が私の役割だと信じている。

○学生部次長(学生担当) 近藤 益世

近年、学生気質は多様化し、様々な資質をもった学生が入学して参ります。どの大学でもそうした学生のニーズに応え、学生生活をより豊かにするための新しい試みがなされております。本学においても、学生が自発的に自らを表現し、自己のあり方、将来への展望を確固たるものとしうべく、多角的視野から木目細かな指導を行っております。本年度は就職指導体制、カ

リキュラム編成等も新たな形を導入し、少人数教育をモットーに各人に合った教育、授業運営を心がけて参ります。また、学友会執行部を軸に、様々な行事をより活性化し、各人の個性が最大限に発揮されるものとなるよう最善の努力をして参ります。

○学生部次長(教務担当) 宮崎 孝治

昨年度に引き続き教務を担当いたします。今年度も円滑な教務運営にご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。

今年度の教務委員会では、通常の教務運営事項と共に、個性的な短期大学の創造・第三者機関の評価を視野に入れ、以下の2点を新たに検討していきたいと考えています。

1. 学生の学習実態及び学習ニーズに応じた弾力的なカリキュラム運営の実施。
2. 成績評価基準や修了認定基準の策定。

また、学生委員会との連携による授業欠席数削減策の実施等、他の委員会との連携をさらに密にし、総合的に学生生活を支援する体制を維持・発展させていきたいと考えています。

平成16年度入試結果

○江戸川大学

学科	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
人間社会	120	186	170	116
マスコミ	145	241	216	148
環境デザイン	90	89	90	76
経営社会	100	206	161	137
計	465	722	637	477

私費外国人留学生(5名)含む。

○江戸川大学3年次編入

学科	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
人間社会	若干	3	2	2
マスコミ	若干	6	5	4
環境デザイン	10	6	4	4
経営社会	若干	2	1	1
計		17	12	11

○江戸川短期大学

学科	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
文化コミュニケーション	150	174	166	162

新入生が入学し、キャンパスが活気に満ちています。ご寄稿くださいました方々に、厚く御礼申し上げます。K・K

江戸川大学・江戸川短期大学学報第14号

平成16年4月1日発行

編集・発行 江戸川大学・江戸川短期大学事務局総務課
〒270-0198 千葉県流山市駒木474 TEL.04-7152-0661(代)